

中小企業景況調査結果(平成31年4～令和元年6月期)

中小企業の業況は、わずかに回復状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業97社を対象に景況調査を実施し、このほど平成31年4月～令和元年6月期実績と7～9月期見通しについての調査結果(回答数82社、回答率84.5%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期の▲27%から▲26%と僅かに上昇した。業種別にみると、製造業は▲11%から23%と大幅に上昇しているが、来期は▲8%と大幅に低下の見通しである。建設業は0%から▲8%と低下し、来期は0%となる見込みである。小売業は▲42%から▲36%と上昇しており、来期はさらに▲21%と大きくマイナス幅が縮小する見通しである。サービス業は▲27%から▲36%と大幅に低下しており、来期は▲33%と僅かに上昇の見通しである。

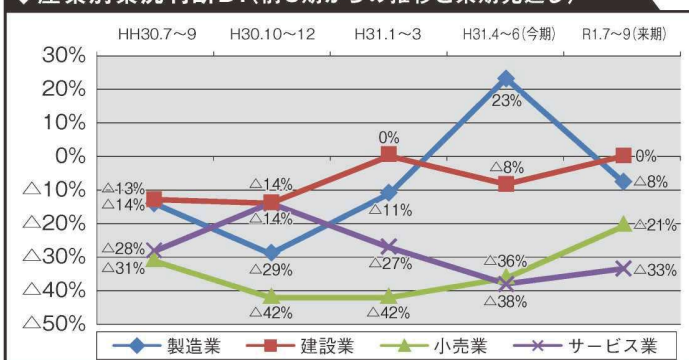
今回調査では、サービス業を除く業種で売上が上昇傾向にあり、前回調査と正反対の結果となっている。仕入単価は業種全体で上昇しているが、経常利益は回復傾向にある。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の14%、来期設備投資を実施予定の企業は14%であった。経営上の問題点については、製造業では上位1位・2位は相変わらず前回と同様であった。また、建設業では熟練技術者の確保難、小売業では需要の停滞、サービス業では従業員の確保難が上位にあがっている。

◆業況DI値(今期の状況)

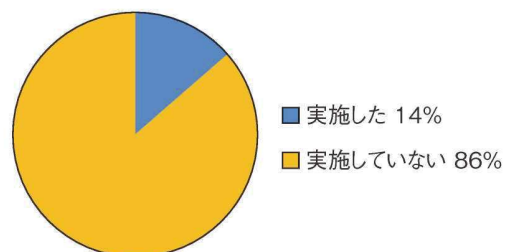
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△25%	↗	△21%	↗	△6%	↗	35%	↗	△26%	↗	△8%	↘
製造業	23%	↗	23%	↗	8%	↗	85%	↘	8%	↗	△25%	↘
建設業	△8%	↘	△8%	↗	△8%	↘	33%	↘	△8%	↗	△17%	↘
小売業	△36%	↗	△32%	↗	△16%	↗	15%	↗	△31%	↗	0%	↗
サービス業	△38%	↘	△31%	↘	0%	↗	26%	↘	△38%	↘	△4%	↗

◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)

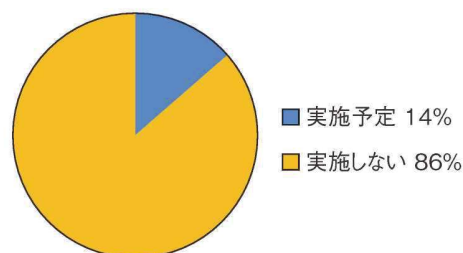


◆新規設備投資(今期実施・来期計画)

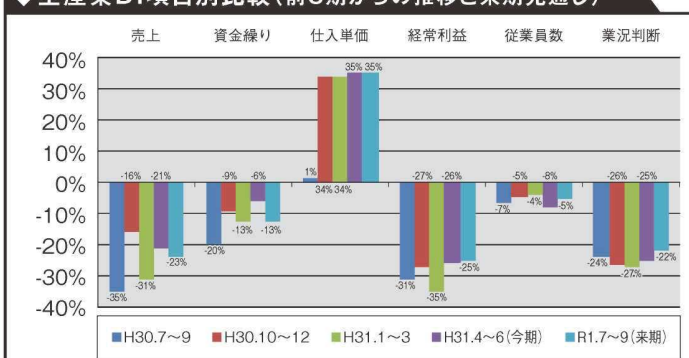
【今期設備投資】



【来期設備投資計画】



◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	需要の停滞 20.0%	熟練技術者の確保難 17.2%	需要の停滞 16.7%	従業員の確保難 18.2%
2位	原材料価格の上昇 13.3%	官公需要の停滞 17.2%	消費者ニーズの変化への対応 13.6%	利用者ニーズの変化への対応 16.9%
3位	製品ニーズの変化への対応 10.0%	人件費の増加 13.8%	購買力の他地域への流出 10.6%	需要の停滞 11.7%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。